

福井県

定数： 2 名

立候補者数： 1 名



氏名 小澤 純一
氏名ふりがな おざわ じゅんいち
都道府県士会 福井県
年齢 57
勤務先名称 福井県立病院

日本理学療法協会活動歴

日本理学療法士協会 代議員（平成28～令和7年）
日本理学療法士協会 組織率向上特別委員会委員（平成25～26年）

都道府県理学療法士（協）会活動歴

福井県理学療法士会 社会局担当理事（平成17～18年）
福井県理学療法士会 財務局局長（平成19～21年）
一般社団法人福井県理学療法士会 事務局長（平成22～31年）
公益社団法人福井県理学療法士会 副会長（平成26～令和5年）
公益社団法人福井県理学療法士会 会長（令和6年～7年）

学会連合及び同連合会員団体活動歴

日本精神・心理領域理学療法研究会 理事（令和4～5年）
日本理学療法管理学会 評議員（令和4～7年）

立候補の趣旨

全国的に人口減少や高齢化が進む中、私たち理学療法士が働く地域医療や在宅ケアの領域も再構築が求められています。地域共生社会の実現に向けて、病院中心の医療から地域や在宅での支援型医療の強化が議論されていますが、医療・介護・障害福祉の領域で理学療法士に求められる役割も質量ともに拡大しています。また、産業保健や母子保健等の公衆衛生領域での職域拡大や災害時のリハビリテーション活動も理学療法士が積極的に関与していく必要があります。AIやデジタル技術が急速に発展する中で、デジタル診療や遠隔医療・ケアなど医療・介護サービスの変革も進み、理学療法士の専門職としてのあり方や働き方も大きく変化していくと考えられますが、協会会員が新しい潮流と共に発展して行けるように代議員活動を通じて支援していきたいと考えます。

日本理学療法士協会そして都道府県士会の組織率を向上させる取り組みは継続した課題です。理学療法士の職能団体への帰属意識を高めるため、地域課題に応じた活動が重要と考えます。その上で、都道府県士会と日本理学療法士協会、日本及び都道府県理学療法連盟、学会連合が連携して活動して行くことが大切です。社会的にアピールできる体制の確立のため、協会と士会、そして関連団体が協働して、社会の中で理学療法士の存在価値を高めるための取り組みを推し進め、幅広い分野で私達が活躍できるような未来の礎を築くため、代議員に立候補致します。